

福島米を本山に届ける



「聖人と仏さまにお供えを」

東北教区若松組（黒川了淳^{そと}組長）は9月11日、「今年とれた新米をぜひ大遠忌法要で親鸞聖人にお供えしたい」と、大遠忌法要団体参拝にあわせ、仏飯米30キ^ろを進納した。

同組の地域は農家が多く、本格的な刈り入れが始まる彼岸前にと100人で参拝。会津若松市・本光寺（沖井玲爾住職）の門徒が収穫した早場米を本山・参拝志納部に届けた(写真)。

黒川組長は「大遠忌法要に参拝できる喜びと如来さま、親鸞さまへの報恩感謝の気持ちを込めて仏飯米を進納させていただきました。福島県は原発事故で多大な風評被害を受けていますが、作物はすべて検査を受けており安全です。全国のご門徒の方々には、正しく理解して風評に惑わされないようにしてほしい」と思いを語った。